

職員による自己評価

A環境面

- ・子ども一人一人のニーズに応じた環境設定に最大限配慮し、活動に取り組む事ができた
- ・除菌・消毒・換気等、感染予防の徹底

B児童への支援内容

- ・環境からの負荷を大きく受けるタイプのお子さんに対して、できる限り個別性を確保しつつも、集団になじむよう、支援に取り組んだ

C関係機関との連携

- ・個別性が高く、プライバシーに関与する部分が多い事柄については、情報管理に配慮し、担当制とした

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・できる限り、迅速・丁寧な対応を心がけ、アンケートにおいても評価していただくことができた

E非常対応

- ・感染予防については、臨機応変な対応ができた。

保護者による評価

A環境面

- ・バリアフリーではないが、バリアフリーでなくても活動できている

B児童への支援内容

- ・楽しみに通えている
- ・個別の時間を楽しみにしている
- ・集団での遊びを楽しむことができるようになった

C事業所からの情報発信

- ・電話やメールで個別にやりとりをしている
- ・スタッフ間での情報共有にタイムラグがある
- ・全体としての活動報告はない

D非常対応

- ・学校や幼稚園で感染症が流行ったり、家族や兄弟が体調不良の際は、個別に相談し、利用基準についてわかりやすく説明してもらうことができた

事業所内での分析

【共通点】

- ・一人一人の発達段階や状況に応じた活動内容やスタッフ配置など、できる限り丁寧な対応を行い、安心して利用してもらう事ができた
- ・保護者さんからの質問には、できる限り迅速・丁寧な対応を行った

【相違点】

- ・事業所全体としての活動報告やお知らせなどがない
- ・スタッフ間の情報共有に、タイムラグがある

